

今を未来に

個別懇談会ありがとうございました

7月16日(火)17日(水)に個別懇談会を実施して、連絡表をお渡ししました。個別懇談会では、学級担任から1学期の学習面や生活面で力がついてきたことや、頑張ったことをお伝えしました。また、努力が必要な事柄については、どのような指導を行ってきたか、子どもさんがどのように変わってきたか、どうすれば向上していくのかについても保護者の皆さんと懇談しました。

連絡表はあくまで現段階の評価であることと、子どもさんのいろいろな面の一部の評価であることを念頭に置いていただくとともに、子どもさんの成長したところや力を発揮したところをほめてあげてください。

連絡表のつけ方

連絡表は、いわゆる『絶対評価』で評価しています。『絶対評価』とは、他者と比べるのではなく、各教科の『評価項目』で、児童が目標に到達しているかを評価する方法です。『絶対評価』のよいところは、児童個人の頑張りを評価しやすく、個々の指導につなげやすいことと、児童が努力し、目標に到達すれば、その結果を評価できることです。

学習のようす

連絡表をつける時、どの学年も『評価基準』というものを作成しています。『評価基準』には、どんなことで、どこまでできたら◎にする、○にする・・・ということが書かれています。そうした『評価基準』を学年で決めるために、学校の基準はおおむね以下のように決めています。

【1年生】 ○=できました △=もう少し

到達目標のおおむね80%以上達成しているときは○がつきます。

【2年生以上】 ◎=よくできました ○=できました △=もう少し

到達目標のおおむね90%以上達成しているときに◎がつきます。

おおむね70%達成しているときは○がつきます。

ただし、項目や学年によって、到達目標が上下することがあります。テストの点数だけでつけることがないからです。

NRT検査の個人結果について

個別懇談会の時に、2年生から5年生の保護者の皆さんに、NRT検査の個人結果をお渡ししました。この検査は、4月に行い、前年度の学年(例:2年生であれば1年生の時)の学習内容をどれだけ身に付けているのかを検査するものです。新しく出会った学年の子どもたちの学力面での強みと弱みをつかみ、授業改善に生かすことを目的に行っています。そのためこの結果は、連絡表の評価対象外となっています。

NRTの結果分析については、2学期の学校だよりでお知らせします。

家庭での振り返りを

子どもさんと一緒に、学習や行動についてよかったこと、努力が必要なことについて話す機会をもつていただくことが、2学期に向けての意欲につながると思います。『強み』を伸ばし、『弱み』を改善する取り組みをお願いします。